



- ① 連続するクラスに関しては、より初步的なクラスから先に番号を付ける。
- ② 他のクラスよりも初步的で、他のクラスを取る前に履修することが望ましいクラスから先に番号をふる。
- ③ クラスのレベルは、100番台の番号でのみ変化するとし、同じ100番台のクラス同士でのレベルは同等と見なす（AOC 222とAOC230では、レベルの差は無いものとする）。
- ④ 関連づけられているクラス同士には、連続する番号を使用する（例えば、ERE 110とERE 111を、Active Reading I とActive Reading II に使うなど）。
- ⑤ 200番台以上のクラスに関しては、先に履修すべきクラスが具体的に設定されていないとしても、より高い年次もしくは、それ相当のレベルを有していることが条件となる。
- ⑥ その時の自らのレベルに合ったクラスを履修することが望ましい。高い年次の学生が、低いレベルのクラスを履修する事は、なるべく避けるべきである。

【大学基幹科目】

キリスト教 CHR

【共通科目】

共通科目	GEC
第二外国語	SLA

《英語コミュニケーション学科》

- ・学科総合科目 DGC
- ・学科英語専門科目
 - English Communication EOC 英語講読演習 ERE
 - 英文法・英作文 EWR Advanced Communication AOC
 - Advanced Reading ARE 高等英文法 AWR
- ・学科専門基礎科目／学科専門応用科目
 - 英語領域 ENG/INT 沖縄・グローバル研究領域 OGS
 - コミュニケーション領域 CMS キャリア＆ビジネス領域 CBA
- ・教職科目 TTC

《観光文化学科》

- ・学科総合科目 DGC
- ・学科専門基礎科目
 - 語学科目 LAN 観光文化科目 TCC
- ・学科専門応用科目
 - 語学科目 LAN 文化資源領域 CRF
 - ホスピタリティ領域 HPF 持続可能領域 STF